

一 般 質 問

9月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。

南海トラフ地震に備え防災・ 減災への短期・中長期の対策は

櫻谷 千重子 議員

牟岐町の耐震化補強工事の進捗状況はどのようなものか。建設中の小学校、保育所の耐震化は、避難訓練は移転後どのように行う予定なのか。

建物の耐震化だけでは決して充分とは言えないのが液状化現象です。液状化の予測図は出来ているのか。

地盤被害の想定及び浸水予想等をハザードマップで配布する予定は。

牟岐町内の堤防は地盤への浸透による崩壊、決壊要因は考えられないのか、堤防の嵩上げや補強など本格的な対策の有無。

南海トラフ巨大地震に備え、大切な施設となる海部



耐震改修の済んだ中学校校舎

病院。万が一の事を考えて、検査機器は2階以上に設置するよう要望してはどうか。

さらに、町の初動体制は。司令本部の位置、メンバーは。河川側に位置する消防署の機動は可能か。

限りなく死者ゼロにしていく為には、最悪のシナリオを考えて、どう防災に活かすかが、問われていると思います。

福井町長
構造物の耐震性能と補強工事の状況ですが、建設中の小学校、保育所は問題なく、中学校は耐震改修済み、海の総合文化センターも新耐震での建築です。耐震改修が必要なのは、町民体育館と役場です。

次に、民間の建築物ですが、耐震診断及び改修件数ともに非常に少なく、自分の寝ているスペースだけ耐震補強する事業も推進したいと考えています。

堤防の嵩上げは、東、西の防波堤は県で対策をしていただけると聞いています。海部病院ですが、現在予

定している高さ15・6mで、安全な所に建つという判断で、更に必要な機器を2階に上げるといふのは現時点での要望は非常に難しい。

大地震後の初動体制ですが、メンバーは町長を筆頭に参集可能な全職員でもって対応する。対策本部は、1番に役場、2番に牟岐中学校、3番に海部病院横の避難広場になるかと考えています。

栗林総務課長
牟岐町では震度7、最高津波高15m、1mの津波到達時間は9分です。津波浸水域は以前のものより広がっています。今後、地区ごとの詳しい浸水高のデータが発表されたら、津波防災計画、避難計画を見直し、新しい避難マップを作成することになっています。

平成23年度末で耐震診断は、149件で、改修は6件と進んでいません。ハード面については、高い場所への避難路、現在20カ所、草刈程度のものですが、